



2021年度 国立音楽大学附属中学校 ガイド

1. 本校について

国立音楽大学附属中学校は1949年、日本で最初の音楽高校である国立音楽大学附属高等学校と共に文教地区国立の地に創立されました。これまで多くの卒業生や在校生が支えてきた歴史とともに「音中」や「国音、くにおん、KUNION」の愛称で親しまれています。

本校は高校で行われるより高度で専門的な学習へ進むための基礎的な力を身につける期間として位置付けられており、音楽コースと文理コースどちらも、日々の学習習慣をつけ、基礎を定着させ応用力を身につけることに重点をおいた授業・行事設定をしています。生徒たちはコースが異なっても、授業・クラブ活動や生徒会活動、体育祭や芸術祭などの行事で関わり、お互いの成果を認め合い、良い刺激を受けながら切磋琢磨しています。

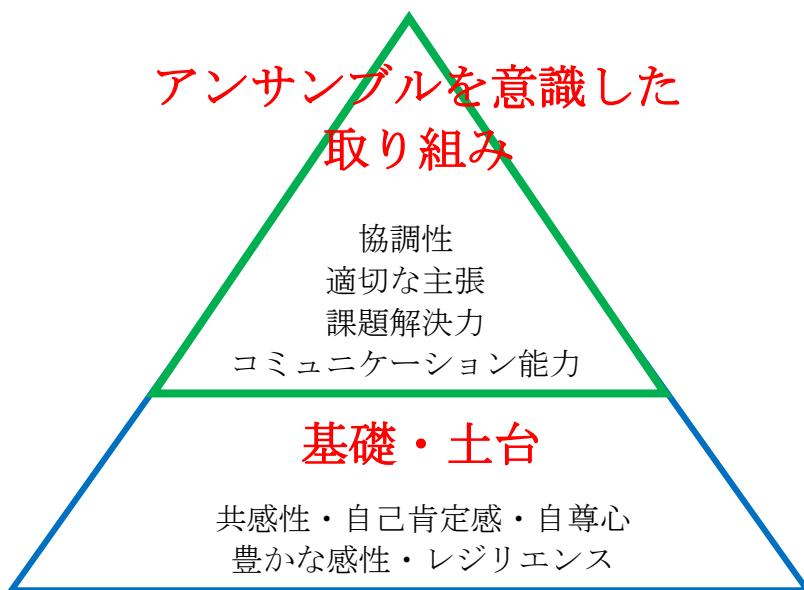
(1) 教育理念「自由」「自主」「自律」

本校の教育理念は「自由」です。自由獲得への想いが確実に社会に拡がりつつあった創立時に「自由」を理念として据えたことは、ある意味必然だったのかもしれません。そして今も変わることなくその精神は受け継がれ、あらゆる活動の中で生き続けています。生徒たちはそうした校風の中で自らを律し、自由の意味を考えながら、のびのびと大らかに学園生活を送っています。

(2) アンサンブルのくにたち

本校は「アンサンブルのくにたち」という評価をいただいている。アンサンブルにおいて必要とされる、協調性、課題解決力、適切な主張、コミュニケーション能力などは、社会人として自立し、活躍していくために、必要なスキルであるといえます。AIを活用して「仮想空間と現実世界」を融合させた未来社会Society5.0においても、人の心を動かせる豊かな感性を持ち、社会に貢献できるような人物をKUNIONで育みたいと考えています。

音楽によって育まれた情緒面の豊かさや感性、自己肯定感や自尊心は人格形成の土台となります。この土台のもとに、KUNIONではアンサンブルを意識した指導を行っています。アンサンブルの中ではお互いの演奏を聴き、認め合い、意見を出し合うことで美しいハーモニーが生まれます。また、周囲に合わせるだけではなく、適切な自己主張をしなければ、自分達の音楽を創り出すことはできません。KUNIONでは、音楽学校として行われる音楽的指導だけでなく、授業やホームルームの中でのグループワークなどはもちろん、委員会、生徒会活動、行事、クラブ活動等の様々な活動の中で「アンサンブル」を意識し、人格形成に役立てています。



※レジリエンスとは、「回復力」「復元力」または「弾力性」とも訳され、ストレスのような外的な刺激に対する柔軟性を表す心理学用語です。心のしなやかさ・現実を受け入れ危機から立ち直る弾力性を表します。

2. 時程

- ・KUNION は一年間を前期と後期の二つに分けて学ぶ二期制の学校で、週五日制をとっています。（ただし行事の関係で土・日も登校することができます。）前期・後期それぞれに中間試験と期末試験があります。
- ・登校時間は午前 7 時 50 分から午前 8 時 45 分までの間となっています。早めに登校して自習をしたり楽器の練習をしたりすることができます。また、遠方から通っている生徒も多いので、最終下校は午後 5 時 15 分です。

第 1 時限	8:50 ~ 9:40
第 2 時限	9:50 ~ 10:40
第 3 時限	10:50 ~ 11:40
第 4 時限	11:50 ~ 12:40
昼休み	12:40 ~ 13:25
第 5 時限	13:25 ~ 14:15
第 6 時限	14:25 ~ 15:15
第 7 時限	15:25 ~ 16:15

3. カリキュラムと時間割

- (1) カリキュラム () の中は週あたりの時間数です。カリキュラムは変更することもあります。

	音楽コースのみの授業	共通授業	文理コースのみの授業
1年	レッスン(1)・ソルフェージュ(2)	国語(4)、社会(3)、数学(4)、理科(3)、音楽(1)、美術(1.5)、保健体育(3)、技術・家庭(2)、英語(4)、道徳(1)、合唱(1)、HR(1)	国語(1)、数学(1)、英語(1)
2年	レッスン(1)、ソルフェージュ(1)、創作(1)、音楽(1)	国語(4)、社会(3)、数学(3)、理科(4)、音楽(1)、美術(1)、保健体育(3)、技術・家庭(2)、英語(4)、道徳(1)、HR(1)	国語(1)、社会(1)、数学(1)、英語(1)
3年	レッスン(1)、合同ソルフェージュ(1)、創作(1)、音楽(1)、校内演奏会(1)	国語(3)、社会(4)、数学(4)、理科(4)、音楽(1)、美術(1)、保健体育(3)、技術・家庭(1)、英語(4)、道徳(1)、HR(1)	国語(1)、社会(1)、数学(1)、理科(1)、英語(1)

(2) 時間割例

< 1 年 >

中学 1 年生の時間割

曜日	月	火	水	木	金
1	理科	理科	選択体育	国語	体育
2	体育	音楽	家庭	美術	理科
3	技術	ソルフェージュ 文理国語	社会	ソルフェージュ 文理英語	書写
4	社会	数学	数学	レッスン 美術	道徳
5	英語	英語	英語	数学	合唱
6	数学	国語	国語	社会	英語
7		特選補習	HR		

■ 国・数・英は習熟度授業

■ 音楽コースのみの授業
火曜のソルフェージュは習熟度授業

■ 文理コースのみの少人数授業

- ・1 年生の国語のうち 1 時間は書写です。
- ・体育のうち 1 時間は選択体育（中学受験生はリトミック、内部進学生は新体操または陸上・テニス）です。
- ・道徳教育の一環として「礼法」を実践的に学習する時間を設けています。

<2年>

中学2年生の時間割

曜日	月	火	水	木	金
1	技術	国語	英語	数学	国語
2	理科	社会	音楽 保健	国語	体育
3	数学	家庭	レッスン 文理社会	英語	創作 文理国語
4	英語	数学	保健 文理英語	道徳	ソルフェージュ 文理数学
5	社会	体育	国語	理科	英語
6	美術	理科	理科	社会	音楽 (合唱)
7		特選補習	H R		

国・数・英は習熟度授業

音楽コースのみの授業
金曜日の創作・ソルフェージュは習熟度授業

文理コースのみの少人数授業

<3年>

中学3年生の時間割

曜日	月	火	水	木	金
1	社会	数学	英語	社会	数学
2	創作 文理社会	国語	数学	英語	国語
3	音楽 文理国語	道徳	社会	数学	体育
4	レッスン 文理理科	体育	理科	国語	音楽 (合唱)
5	理科	理科	合奏ソルフェージュ 文理英語	保健	社会
6	家庭	英語	校内演奏会 文理数学	美術	英語
7	合奏	特選補習	H R	理科	

国・数・英は習熟度授業

音楽コースのみの授業
水曜日の合同ソルフェージュは7つの習熟度クラスに分かれており、音楽科高校1年生と合同

文理コースのみの少人数授業

- 3年生の合奏は高等学校音楽科との合同授業です。管・弦・打楽器を主楽器として専攻している生徒のみ参加します。
- 3年生のソルフェージュは7つのレベルに分かれて高等学校音楽科1年生との合同授業です。
- 3年生男子の合唱は、高等学校音楽科の生徒と合同で混声合唱を行います。
- 3年生は前期が家庭で後期は技術になります。

4. 音楽コースの特徴

音楽コースには【音楽実技プログラム】【音楽準備プログラム】の2つのプログラムがあります。

【音楽実技プログラム】では各楽器や声楽の基礎的な知識や技術の習得とともに、音楽的表現を専門的に学ぶことを目的としています。

【音楽準備プログラム】では「音楽の楽しさ」を再認識することからはじめ、個々が選択した楽器や声楽を学びながら音楽の基礎力を身につけていきます。これから音楽を専門的に学びたい、教養として音楽を学びたいという希望もこの【音楽準備プログラム】で実現します。

入学後は、両プログラムともに個々の習熟度に合わせた個人レッスンやグループレッスン、またソルフェージュ（視唱・聴音等）、創作（作曲）、リトミック、合唱など、本校ならではの音楽科目が充実した環境で専門的に音楽を学びます。これらの学びから、集中力・協調性・主体性・表現力・創造力・コミュニケーション能力など、これからの時代に必要な力が身につきます。

音楽コースの生徒の多くは附属高等学校音楽科、国立音楽大学へと進学し、本校の教育理念である「自由・自主・自律」を身につけ、音楽文化の発展や様々な分野に貢献し、活躍しています。

※音楽コースの生徒も特別選抜プログラム(特選)の授業を受講することができます。

特選授業に関しては、「5. 文理コースの特徴」をご覧ください。

		音楽実技プログラム	音楽準備プログラム
対象		各楽器の技術や知識を専門的に学ぶ 音楽家、演奏家など、将来音楽関係の 分野を目指す	教養として音楽を学ぶ 専門的な環境でこれから音楽を学ぶ
入学試験		実技試験あり (国語・算数・実技・視唱・面接)	実技試験なし (国語・算数・作文・面接)
入 学 後	実技試験	あり 成績優秀者は「演奏会」にて演奏する 機会あり	なし 年度末には準備プログラム独自の研究発表 あり
	プログラム変更	あり	あり 年度末に「適性試験」を受け、実技プログラムへ進路変更が可能
共通事項		レッスン・音楽などの授業	

ソルフェージュ

ソルフェージュの授業は、演奏の礎となる基礎訓練が中心です。中でも、「聴音」（演奏された音の聴き取りと書き取りを同時に使う訓練）や「視唱」（与えられた楽譜を正しく歌って表現する訓練）がよく知られていますが、「読譜から演奏に至るまでに必要な様々な技術」すべてがソルフェージュなのです。

中学生のうちは、基本的なことが中心となりますが、少しずつ高度なソルフェージュ力を身につけることも早い時期から行います。「ただ正確に書き取る」だけ、「ただ正確な音程で歌う」だけ、では、その先の演奏につながりません。自らが「どう表現するか」を常に考えることが大切で、それを一人でできる力が備わるようになることが求められます。文章にすると、難しそうに聞こえてしまいがちですが、今までみんなが行ってきたこと（譜読みをして演奏する）をさらに専門的に訓練する、と考えてみてください。よく知っている楽曲や、実際に自分が取り組んでいる楽曲を「自分の色に素敵に仕上げる」ために、感性を磨き、楽しみながら一人一人が実力をつけていくのです。

音中および音高のソルフェージュの授業は習熟度別に行い、それぞれの実力を向上させています。また、高校音楽科に進学してもスムーズに授業を受けることができるよう、中学3年生の段階では7つのグレードを用意し、高校音楽科1年生と合同で授業を行っています。

創作

1年生の後期はソルフェージュの1時間を使って短いメロディーの作曲から始めます。2年生では変奏曲と歌曲、3年生では合唱曲を作詞・作曲します。実際に自分自身の手によって曲を書くことで作曲家の視点を持ち、「楽譜を自分で理解し読む力」と「良い音を聴き分ける力」が身につき、最終的に演奏につなげることを目標としています。また、3年生の優秀創作作品は、作曲した生徒自身による合唱指導・指揮のもと、卒業演奏会（後述p11・音大講堂・小ホール）で全校生徒による合唱で発表します。

レッスン

レッスンは他の学校ではなかなか見られない、音中の特徴的なカリキュラムです。第一線で活躍する約60名の教員が、中学の3年間、そして高校音楽科に進学すると6年間、学びのパートナーとなります。

週1回のレッスンでは、一人ひとりの資質や能力に合わせたきめ細やかな指導を行い、個性や得意分野を伸ばしています。

レッスンで培われる力は様々で、日常的にコツコツと日々練習を重ねる「忍耐力」、次回のレッスンまでにどのような練習をしなければいけないか分析し練習方法を考える「思考力」、そして次回のレッスンまでの課題を仕上げるための「計画力」が訓練され、このことが「マネジメント力」の向上にも役立っています。また学校の取り組みとして、年に数回行う国内外の著名な講師を招いての公開講座は、生徒たちに良い刺激をもたらし、モチベーションを高めます。

その他、演奏する上で必要とされる演奏力・創造力・表現力を身につけるため、他教科との連携も大切にしています。それぞれの時代様式や、和声・作曲技法の解釈はもちろんのこと、作曲家や作品の時代背景を理解するために、歴史、文学などからも、音楽を総合的に学ぶことを目的としています。

トライアル

トライアルは、音楽コースのピアノ、弦楽器で実施しており、複数の実技教員がアドバイスをすることによって多角的視点からの指導を行うものです。

技術的・音楽的課題の自覚を促し、日頃の練習に活かせることを目的としています。実施内容は、主楽器がピアノの生徒は、スケールとアルペジオの他、個人の技量に合わせた課題（練習曲、バッハの作品）を演奏しアドバイスを受けます。主楽器がピアノ以外の生徒も、副科ピアノとしてピアノでスケールとアルペジオのチェックを受けます。弦楽器ではスケールのチェックを受けます。

スケールやアルペジオでは技術的な向上のみならず、全24調を習得することで調性感覚、色彩感覚を養います。バッハの作品では日常的に勉強することで、調性感や和声感の他、構成力、立体感が備わり、演奏をより美しく表情豊かなものにします。そしてこのトライアルは楽典、ソルフェージュ、和声学を学んでいく上においても、重要な基礎となります。

実技試験

実技プログラムでは、前期・後期の学期末に実技試験を行います。試験では、各自が試験に向けて取り組んだ課題を演奏します。

「ピアノ」は成長する段階での必要性や学年のカラーに応じてバロック、古典、ロマン、近現代の中から課題を設定し、3年間で様々な時代様式を学びます。またAグレードからLグレードまでの12段階のグレード制を実施しており、個々のレベルや個性に見合った自由曲を学びます。Kグレードは15分以上のプログラム、Lグレードは30分以上のプログラムを実技試験で演奏します。高等学校音楽科3年前期試験を終えた段階で、Kグレード以上の生徒は、国立音楽大学への推薦試験において実技試験が免除されます。このグレード制は個々の実力に合わせて無理なくかつ計画的にレパートリーを広げ、中高の6年間で、様々なレパートリーを構築し将来に備えます。

「弦楽器」はエチュード、バロック、協奏曲などの課題が設定されています。「管楽器・打楽器・オルガン・電子オルガン」の課題は、個々の能力に合ったものを担当教員と相談して決めていきます。「声楽」は発声法を大切にしながら、身体の発達に合わせてコンコーネやイタリア歌曲といった課題に取り組んでいます。

生徒はこの試験のために練習し、努力を重ね、教員の前で演奏する緊張感・達成感、時には挫折感を味わいながら日々過ごします。この経験は、将来社会に出た時に必ず様々な場面で役に立つ力となります。

5. 文理コースの特徴

音楽が身近にある環境で、知性と感性をバランス良く育み、表現力・判断力・思考力に優れた人間形成を実践します。基礎学力の確実な定着を図り、その上に様々な課題を解決する応用力を伸ばしていきます。

「アンサンブルのくにたち」をベースに、感情理解や感情表現に重点を置いた授業を文理コースでも実施しています。これらの教育によって生徒達の豊かな感性を伸ばし、今後の社会で調和や協調をもって活躍できる人材を育成します。

授業の一例として、2年生の数学では日常生活や社会における問題をテーマに「統計」を用いて分析し、ポスターにまとめ発表をします。また他学年と合同で課題に取り組むコラボレーション授業などがあります。このような様々な特色ある授業を通して多角的に論理的思考力や表現力、感情理解やコミュニケーション能力を養っていきます。また、3年次では卒論を作成・発表をすることを目標に、1年次より様々なことを学んでいます。

生徒達は、音楽コースの生徒と同じ学び舎で学校生活を送ることで、それぞれの目標に向かって切磋琢磨し、様々な感性と個性をもつ仲間とつながり関わりあいながら理想の未来へ進む力を身につけていきます。

【特別選抜プログラム】【総合プログラム】の2つのプログラムがあり、入学試験で募集しているのは特別選抜プログラムのみです。ただし、試験結果によっては総合プログラムでの合格となることがあります。

(1) 特別選抜プログラムの特徴

さらなる学力向上を目指し、国語・数学・英語は習熟度別の特選授業及び補習を受講します。生徒と教員、生徒同士の対話を多く取り入れて授業を行い、3年後の高校普通科特別進学コースへの進学につなげます。

①特選授業

国語・数学・英語の3教科を通常クラスとは別に特選対象者のみで行います。この授業を受講できる生徒は文理コース特別選抜プログラム所属者に加えて、音楽コース所属で入学試験において国語・算数の得点が8割以上の者/附属小学校からの推薦された者に限ります。

※音楽コース所属者は入学試験後、後日該当者に本校からお声掛けいたします。

《2020年度 中学1年授業例》

国語

授業について

- ・自ら設定した課題を、論理的に考えて解決すること。
- ・自分の考えをより良く伝わるよう、工夫して発表すること。
- ・互いの意見や表現方法から学び取り、皆で力を伸ばし合うこと。
- ・文章を深く理解し、要約する力を伸ばすこと。

を目標とし、対話的な授業を行っています。

また一方で、高校受験レベルの読解力をつけることを目標とし、初見の文章を読み解く力を育成しています。教科書以外にも多様な教材を用いて、考え、表現する能力を伸ばしています。

定期試験について

授業で学習したことの復習問題に加え、応用的な内容や、思考力・判断力を問う問題を出題しています。試験を授業で学習した内容の定着度を測るだけのものとしてとらえるのではなく、試験を通じて多くのことを学んでほしいと考えているからです。

小テストについて

毎週漢字テストを行っています。また文法の単元末テストや古典暗唱テスト、語彙のテストなど、基礎力を充実させるためのテストを、頻繁に行っています。

宿題について

教科書の進度に沿った宿題を、毎回の授業の復習・予習として出しています。また単元の終わりには、まとめの復習問題を宿題にし、授業で解説を行います。

その他、応用的な文章読解や漢字練習、文法のドリルなど、生徒の習熟度に応じて様々な課題を出しています。長期休暇には、作文コンクールへの出品、読書記録や詩などの作成といった、多様な言語表現にも挑戦しています。

数学授業について

数学への興味や関心を伸ばし、柔軟な考え方ができるような授業を目指して、パズル的な要素やサイコロなどを用いた文字や数の理解/折り紙を使った多面体作り/工作用紙を使った立体作りなど、手を動かした体験的な学びを楽しめます。

また、教科書の内容の理解や考え方のプロセスを確認するために、ホワイトボードへの記述をチェックします。

自分の考えをきちんと発言し、他の意見を聞いて理解する力を育てるために、個々の発言を大切にしながら進めています。

定期試験について

計算力だけでなく、読解力・記述力・理解力・応用力・発想力を試す機会ととらえ、可能な限り「初めてみる問題」を出題します。

宿題について

問題集「シリウス」から問題番号を指定して30分程度の宿題を出し、自宅での復習を課しています。また、毎週1回、宿題ノートの提出を課し、実施状況のチェックをしています。

その他の取り組み

週1回程度記述式の小テストを実施しています。

英語授業について

英語では、コミュニケーションや異文化に関心を持ち、理解しようとする力を育むことを目標に、読むこと・聞くこと・書くこと・話すことの4つの技能をバランスよく身に着ける授業を実施しています。日常生活を想定した会話活動や発表活動を行い、学んだ表現を反復して練習していきます。

中学で学ぶ英語の内容はその先で学ぶ英語力の土台になります。そのため、特選であっても授業は一つ一つ丁寧に進めています。進度を速めたい生徒は自主学習でどんどん先の内容を学ぶこともできます。

定期試験について

定期試験は身に着けた「読むこと・聞くこと・書くこと」の3つの力を発揮する場として実施しております。定期試験と同じ時期に合わせて音読テストなどのパフォーマンステストを実施し、「話すこと」の力も伸ばしていきます。

宿題について

教科書と対応した問題集を宿題として毎週課しています。

その他取り組み

本校の校風の一つでもある自主性を育むため、生徒は英語に関して興味のあることについて自由に自主学習を行い、分からぬことがあれば先生に質問をすることができます。

②特選補習

週に1度、放課後(7限にあたる時間)に「特選補習」を実施しています。国語・数学・英語の3教科を週交代りで学習していきます。

(2) 文理コース授業

文理コース(特別選抜プログラム・総合プログラム)だけの授業も行います。学年によってその時間は異なります。1年次は3時間(国・数・英)。2年次は4時間(国・英・数・社)。3年次は5時間(国・英・数・社・理)を行っています。

《2020年度 中学1年授業例》

国語

授業について

「書く」「話す」スキルの向上が主な目的です。自分の考えを適切な言葉で、書いたり話したりできるようになろう、と生徒にも最初に伝え、「伝える力UP!!」を合い言葉に授業を展開しました。

前期は、基礎的な力を身につけるため、主に副教材のドリルに取り組みました。「読む・書く」分野では、原稿用紙の使い方や、具体と抽象の概念の理解、表の読み取り、意見と事実を見分ける訓練などを行いました。「聞く・話す」分野では、自己紹介や、「私の好きなもの」などの身近なテーマでスピーチを行い、良い話し手、良い聞き手にはどのような特徴があるか、意見を出し合いながら実践しました。

後期は、意見文を書く練習と、話し合いの練習を主に行いました。新聞記事を皆で読み、分からぬ所を共有・解決してから、その記事から考えた自分の意見を書いたり、話し合ったりといった活動を行いました。書いた文は読み合ってアドバイスし合い、クラス全体で成長していくことを目指しました。新聞で取り上げたテーマは、校則について、学校の宿題の意義といった身近なテーマから、少年法の適用年齢、国会のクオータ制など社会の中で問題になっているテーマまで、多岐に渡りました。できるだけ世間で話題になっている、「活きの良い」テーマを扱い、社会にも目を向け、関心を持ってもらえるようにと考えて選んでいます。

定期試験について

定期試験は実施せず、提出プリント、意見文、話し合いへの貢献度などを見て総合的に評価しました。

英語

授業について

スピーキング力を高めるために、中学で学ぶ表現を盛り込んだ教材(super pair work)を使い、ペアやグループでの自己表現活動を通して様々な文法や語彙を身につけていきました。また、教科書(ONE WORLD)に準じたワークブック(エイゴラボ)を用いて、自己表現活動で用いた表現に焦点を当て、文法知識の定着を目指しました。

定期試験について

文理コース授業内で年2回実施しました。

(3) コラボレーション授業

この授業は「問題解決能力や自分の意見を発表する力をつける」「他学年とともに学ぶことで自らの役割について考え、行動する力をつける」ことを目的としています。

文理コースの1~3年生合同で行う授業であり、3~4人の縦割りグループで学習を進めていきます。題材については職業や学校改革など身の回りのものについて取り上げています。

文理コース特別授業期間として夏期7月・冬期2~3月に、約15時間(4日間ほど)の授業を集中的に行います。全体の流れは講演を聴く→グループディスカッション・内容の全体共有→グループごとにテーマを決める→グループワーク(調べ学習を中心)→発表準備→発表

発表にはパワーポイントを使用するため、パソコンの使い方も同時に習得しています。パソコンを使う機会の少ない下級生は上級生からアドバイスをもらいながら進めています。互いの得手・不得手を補いながら複数で一つのものを完成させることによって達成感と相手に対する尊敬が生まれていきます。授業を受けた1年生は「チームになじめるか心配」と初めは話していましたが、授業の中で「先輩からエクセルなどのパソコンの使い方を教えてもらい少しづつ慣れて、うまくいったときに達成感が生まれて嬉しい」と話していました。最後は「普段味わうことができない貴重な経験だった」「3年生が積極的に動いてくれて助かつた」「楽しかった」といった感想をきくことができました。

6. 教育システム

(1) NOLTY スコラ手帳

スコラ手帳は「自ら学び・考え・行動できる人材」となるために必要な能力を育成することを目的として作られたものです。本校の教育理念である「自由・自主・自律」の精神に則り、予定を生徒たち自身で組み立て、それを実行し、振り返りを行います。本校では2019年度から導入を始めました。

中学1年生は、初めて自分のスケジュール帳を持つ生徒も多いので、メモを取る習慣を身につけさせるため、毎回ホームルームで手帳を使い連絡事項などを記入させています。

生徒たちは表紙にアレンジを加えてオリジナルの手帳を作り大切に使っています。

(2) 英会話

本校では、英語によるコミュニケーションを楽しめる生徒を育てるために、英語のルールを理解することにとどまらずペアワークや音読活動など繰り返し英語を使う練習を行っています。

また、文理コース授業では、日常英会話にねざした教材を用いて、スピーキング力向上を目指しています。

(3) 海外研修

2019年8月に希望した生徒たちが附属高校の生徒たちと共に、カナダへ2週間の語学研修に行きました。語学学校での研修やホームステイ、キャンプや現地の方々へのインタビュー企画など充実した時間を過ごしました。英語でコミュニケーションが取れた喜びや、異なる文化を受け入れる経験を通して大きく成長しました。

高校音楽科では姉妹校であるオーストリア・リンツ音楽高校へ3ヶ月間のターム留学を実施しています。毎年1名が参加することができ、これまでに5名が留学しています。慣れないドイツ語に苦戦しながらも、音楽漬けの充実した日々を送っています。

(4) 大学進学および合格実績

① 附属高校音楽科 進学実績 (2020年度)

国立音楽大学 75名	他大学（音楽系）10名	短期大学 1名
演奏・創作学科 鍵盤楽器専修(ピアノ) 34名 声楽専修 14名 弦管打楽器専修 11名 作曲専修 3名 コンピュータ音楽専修 1名 音楽文化教育学科 音楽文化教育専攻 音楽療法専修 1名 音楽教育専修 3名 音楽情報専修 2名 幼児音楽教育専攻 6名	東京藝術大学 1名 東京音楽大学 4名 桐朋学園大学 2名 洗足学園音楽大学 2名 東邦音楽大学 1名 他大学（一般）6名 上智大学 1名 白百合女子大学 1名 桜美林大学 1名 跡見学園女子大学 1名 文化学園大学 2名	昭和女子大学 1名 専門学校 2名 日本工学院 1名 渡辺ミュージカル芸術学院 1名 その他（留学等）7名

② 附属高校普通科 大学合格実績 (2018~2020年度)

国立音楽大学附属高等学校【普通科】合格大学一覧 (過去3年間)										2021.3.23		
大学名	18	19	20	学部	学科専攻	大学名	18	19	20	学部	学科専攻	
18	19	20	18	19	20	18	19	20	18	19		
東京外国语大学	1			国際社会	南アジア(ベンガル語)	拓殖大学			1	国際	—	
東京学芸大学		1		教育	初等教育教員養成課程(理科)	和光大学		1		表現	芸術	
千葉大学	1			理	物理			1		表現	総合文化	
東京都立大学		1		都市環境	地理環境		1			人間	人間福祉	
慶應義塾大学		1		看護医療	—	目白大学	1			人間	人間福祉	
上智大学	1			法	国際関係法	文京学院大学		1		外国語	韓国語	
		1		文	国文	文化学園大学	1			保健医療技術	臨床検査	
	1			文	英文学					造形	デザイン・造形	
学習院大学		1		文	日本語日本文学		1			国際文化	国際ファッション文化科	
		1		文	英語英米文化	東京国際大学		1		商	—	
		1		文	心理	四国学院大学		1		社会福祉	—	
明治大学		1		文(演劇学)	—	東京理科大学	1		1	理学部	数学	
		1		文	心理社会	東京薬科大学	1			基礎	—	
	1			国際政治経済	国際経済	杏林大学	1			生命科学	生命医科学	
青山学院大学	1			経済	経済		1			保健	臨床工学	
		1		理工	物理・数理		1			保健	健康福祉	
		1		総合文化政策	総合文化政策	東京女子医科大学	1			総合政策	—	
立教大学		1		現代心理	心理	日本赤十字看護大学	1			看護	看護	
		1		映像身体	—	東京農業大学	1		1	生物産業	海洋水産	
		2		総合政策	国際政策文化					国際食糧情報	国際農業開発	
中央大学		1	1	文	人文社会・社情	東京都市大学	1			都市生活	都市生活	
		4		文	人文社会・英語文化	工学院大学	2			理工	自然科学	
		1		理工	物理		1			先進工学	応用物理	
法政大学	1			経済	—		1			先進工	環境化学	
	1			経営	経営戦略	東京工科大学	1			医療保健	臨床工学	
	1	1		生命科学	生命機能	千葉工業大学		1		応用生物	—	
関西学院大学		1		理工	物理			1		社会システム工	プロジェクトマネジメント工	
		1		情報科学	デジタルサイエンス	金沢工業大学	1			工	電気電子工	
		1		法	政治		1			工	メディア情報	
同志社大学	1		1	文	英文		1			工	経営情報	
	1		1	法	法律	横浜薬科大学	1			工	情報工学	
	1		1	文	現代社会	帝京平成大学	1			工	臨床薬	
成蹊大学		1		文	日本文学	城西大学	2			薬	言語聴覚	
		1		理工	物質生命理工	日本薬科大学	1			薬	—	
		1		国際文化	—					—		
成城大学	1		1	文芸	英文	東京医療保健	2			看護	看護	
	1		1	経済	経済	東京医療学院	1			保健医療	看護	
		1		社会イノベーション	—	帝京科学大学	1			医療科学	看護	
明治学院大学	1			法	消費情報環境法	東京純心大学		1		看護	看護	
	2			人文	日本東アジア文化	津田塾大学		1		学芸	国際関係	
				歯	歯	東京女子大学	2			—		
武藏大学		1		法	公共政策	日本女子大学	1			—		
		1		経済	経済	東京家政大学	1	1		現代生活	生活デザイン	
		1		商	—	白百合女子大学	1			文	英語英文	
日本大学		1		危機管理	危機管理	フェリス女学院大学	2			文	日本文学	
		2		芸術	映画		1			文	コミュニケーション	
		1		芸術	音楽		1			文	国際交流	
東洋大学		1		生産工	マネジメント工		1			音楽	音楽芸術	
		1		法	企業法	清泉女子大学	2			文	英語英文	
		1		法	法律		1			文	スペイン語	
駒澤大学		1		経済	総合政策	聖心女子大学	1	1	1	文	地球市民	
		1	1	社会	社会福祉		1			现代教養	—	
		1		情報連携	—	昭和女子大学	1			生活科学部	健康デザイン学科	
専修大学		1		総合情報	—		1			国際	英語コミュニケーション	
		1		1	人間環境デザイン	学習院女子大学		1		—	国際	
		1		文	英米文							
武蔵野大学		1		ネットワーク情報	ネットワーク情報	大妻女子大学	1			人間関係	人間関係	
		1		教育	こども発達		1	1		人間関係	社会・臨床心理	
		1		教育	教育	共立女子大学		1		社会情報	社会情報	
神奈川大学		1		人間科学	社会福祉	実践女子大学	1			看護	看護	
		1		工	建築デザイン		1	1		生活科	生活文化	
		1		文	日本文学文化学科		1			生活科	生活環境	
玉川大学		1		法	法律	駒澤女子大学	1			文	英文	
		1		理	化					—		
		1		外国語	総合理学プログラム	東洋英和女学院大学		1		人間総合学群	国際コミュニケーション	
大正大学		1		工	スペイン語			1		国際社会	国際コミュニケーション	
		1		工	情報システム創成			1		人間科	人間科学	
		1		芸術	経営工	恵泉女子大学	1			人間社会	社会闘争	
帝京大学		1		芸術	パフォーミング・アーツ	相模女子大学	1			人文	日本語日本文化	
		1		文	歴史	跡見学園女子大学	1			人間社会	人間心理	
		1		理工	バイオサイエンス	洗足学園大学	1			音楽	管楽器コース	
大東文化大学		1		文	英米文		1			音楽	ミュージカル	
		1		文	書道		1			音楽	声優アニメソング	
		1		文	日本文学	昭和音楽大学	1			音楽	音楽芸術運営学科	
白梅学園大学	1			子ども	子ども	多摩美術大学	1			音楽	音楽芸術表現学科	
	3	1		教育	教育	武蔵野美術大学	1			美術	統合デザイン	
	1	2		心理	心理	東京造形大学	1			造形構想	クリエイティブ・アート	
関東学院大学		1		国際	英文		2	1	1	音楽	音楽文化教育・音教	
		1		国際	比較文化		1	6	2	音楽	音楽文化教育・幼教	
		1		リベラルアーツ	—		2			音楽	音楽文化教育・音楽療法	
桜美林大学		1		芸術文化	演劇・ダンス専修	国立音楽大学	1			音楽	音楽文化教育・音楽情報	
		1		外国語	国際コミュニケーション		2	1	1	音楽	音楽文化教育・音楽情報	
		1		英米語	英米語		3		3	音楽	音楽	
城西国際大学		2		メディア	メディア情報					—		
		1		教育	児童教育							
		1		教育	児童教育							
卒業生人数										58	68	44

7. 感性と知性を育む教育

(1) 様々な演奏会

感性と知性を育む教育の一環として、本校では多くの演奏会を行っています。練習を重ね、準備を整え、緊張をコントロールして多くの観客の前で演奏することは、生徒の貴重な成長の場となります。自身の意思や主張をどう表現するべきかを、音楽を通して学びます。

また、「合唱」などのアンサンブル活動においては、お互いの演奏を聴き合う、認め合う、時にはぶつかり合うことで、全く新しい発想が生まれたり、一体感や感動を仲間と共有したりします。アンサンブルは「人間力」を養うための協調性、主体性、コミュニケーション能力、創造力、発想力が身につきます。音中では日常の中にアンサンブルが溢れ、それは将来社会に貢献する人材を育てるために役立っています。

新入生歓迎演奏会

学年末の実技試験で優秀な成績を修めた上級生が新1年生を演奏で歓迎します。国立音楽大学講堂大ホールで行われ、ピアノの独奏やアンサンブルの演奏を行います。

くにたち音楽会（ソロ・合唱）

本校創立から続いている伝統ある演奏会で、12月に国立音楽大学講堂大ホールで行われます。主楽器の成績が優秀な生徒たちのソロ・アンサンブルの演奏、そしてクラス・学年を越えた混声合唱、様々な編成の合唱を行います。

卒業演奏会（ソロ）

3年生の成績優秀者が国立音楽大学講堂小ホールにて独奏を行います。

卒業演奏会（創作合唱）

3年生の創作の授業における優秀作品を、作曲した生徒自身による合唱指導・指揮のもと、全校生徒による合唱で発表します。

アンサンブル・ランチコンサート

年間2・3回学内オーディション合格者によるアンサンブル・コンサートをお昼休みに3号館1階の生徒ホールにて行います。中学生から高校生まで幅広い学年層でアンサンブル作品を演奏します。

(2) 様々な音楽教育

校内演奏会(音楽コース)

音楽コースに在籍する3年生は、全員がソロプログラムを発表し、それを鑑賞します。ただ演奏を発表するだけでなく、プログラム作成や舞台準備、演出など全ての企画も生徒たちで行い、企画・運営等舞台の裏側についても実践的に学びます。少人数のグループで活動を進め、仲間と協力して一つのものを創り上げる授業です。

合唱(音楽コース・文理コース)

主に合唱コンクール(6月・音大講堂小ホール)、くにたち音楽会(12月・音大講堂大ホール)、卒業演奏会(3月・音大講堂小ホール)、卒業式(3月・本校講堂)、と、それぞれ発表の場へ向けて練習を重ねていきます。基本的な発声法やハーモニーのつくり方を習得し、合唱としてのサウンドをつくり上げる中で、仲間とアンサンブルをすることの良さや楽しさについても味わっていきます。また、音楽の中で唯一テキストを持っているものが歌です。歌詞についても研究し、歌詞と音楽との関わりやその適切な表現方法についても実践を重ねながら学んでいきます。

リトミック(音楽コース・文理コース)

楽器を演奏したり歌ったりするのではなく「身体表現」という手段を用いて、音楽を視覚的・体感的に学び、感覚や感性を養います。細やかな音楽要素や自身の身体、空間に目を向けることによって、より深く豊かな日常生活や音楽表現に繋げていくことを目指します。

(3) 芸術鑑賞

邦楽

2年生では、一流の三味線奏者を迎えて実際の三味線演奏を鑑賞し、手ほどきを受けながら、全員で三味線を演奏します。三味線の持つ独特の奏法や響きの良さを、プロの奏者による「生」の演奏や実際に体験することで味わい、3年生で足を運ぶ歌舞伎鑑賞教室に繋げます。音楽の授業内においても事前学習の一環として、三味線と関わりのある西洋音楽についても触れ、グローバルな視点から音楽文化や音楽作品についても学びます。

歌舞伎

3年生では、国立劇場（東京都千代田区）に足を運び、2年生で学習した三味線が登場する作品でもある歌舞伎を鑑賞します。事前に、授業内で歌舞伎そのものや当日の演目（毎年上演作品は異なります）についての予習を行い、鑑賞当日を迎えます。鑑賞当日にも演目上演の前に役者による鑑賞のポイントレッスンが行われる場合もあり、より充実した学びのもとで「生」の芸術に触れることのできる機会となっています。我が国の伝統的な芸能の良さに気付き、味わうことで、さらに個人の表現の幅が広がることを期待しています。

オーケストラ

2019年度は全学年で「サントリーホール（東京都港区六本木）& ウィーンフィルハーモニーの青少年プログラム」を鑑賞しました。東京で最初のコンサート専用ホールとして、「世界一美しい響き」をコンセプトに1986年に誕生したサントリーホール（出典：suntory.co.jp）に足を運び、世界一流のオーケストラによる「生」の演奏を聞くことのできる貴重な機会です。音楽の最大の良さである「生」を肌で感じることで、机上や言葉だけでは学びきれない舞台に関わる多くのものを吸収し、昨今のハイテクノロジー化が進む社会の中で、改めて「生」である音楽の価値について考える機会としています。

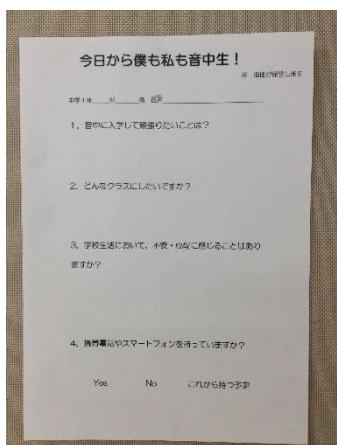
ミュージカル

全学年で「歌・舞踊・演技」の総合舞台芸術であるミュージカルを鑑賞します。演出の凝らされた会場に足を運び、同じく「歌・舞踊・演技（伎）」をもつ総合舞台芸術である日本の伝統芸能、歌舞伎とも比較をしながら、新たな視点やそれぞれの芸術の持つ良さを見つけ、個人の表現活動に繋げるきっかけとなる機会です。

(4) 遠足・秋の旅行・修学旅行（2020年度は新型コロナウイルスにより中止）

1年生は10月ごろに日帰りの遠足があります。行き先はその年によって変わりますが、2019年度は豊洲にあるキッザニア東京に行きました。月に何度かE@K Activityが実施されていて、対象アクティビティでは英語ですべての進行が行われます。英語でのコミュニケーション実践の場として、また、キャリア教育の一つとして選びました。

また、宿泊行事として近年、2年生では京都・奈良を中心とした秋の旅行（2泊3日）、3年生では北海道への修学旅行（3泊4日）を実施しています。班別研修や音楽的体験学習を行程に含んでおり、2年生ではヤマハ掛川工場の見学も行っています。日本の伝統や文化、遺産等を、五感の全てを研ぎ澄ませて感じ、学び、仲間と共に終始過ごす時間は生徒たちにとってかけがえのない時間となるだけでなく、大きく成長することのできる機会でもあります。



(5) 面談

全学年共通して4月～6月に生徒と2者面談を実施します。主に新しい環境での様子、2・3年生ではそれに加えて進路について話をします。学年によってはこのような用紙に記入してもらったことを参考に話を進めていきます。

7月下旬から8月（夏休み期間）には保護者との2者面談を行います。主に生活について・学習について話をします。2・3年生では進路について話をします。

また、3年生は秋頃に、日々の学習状況等により追加面談を必要とした場合には面談を行っています。

その他、進路・学校生活など生徒・保護者・教員が信頼関係を深めていくために随時面談を行っています。

8. 学校生活

(1) 携帯電話・スマートフォンに関するルール

本校では、学校内での携帯電話・スマートフォンの使用を禁止しています。学校に入る前に電源を切り、施錠ができる個人ロッカーにて各自で保管するルールになっています。保護者の方から生徒本人へ緊急に連絡がある場合には、学校へご連絡いただくようお願いしています。

(2) ご家庭との連絡

保護者・生徒の皆様へ学校生活の中で緊急を要する事項について、迅速かつ正確に連絡するために緊急時のメール配信を導入しています。1家庭で3件までのメールアドレスを登録することができます。通信にかかるセキュリティーは、世界的に信頼のある、デジサート（旧ベリサイン）のSSLを利用しています。

【緊急時にメール配信する事項】

- ・学校行事における雨天中止や延期、時程変更等
- ・天災、交通災害、伝染性の疾患等による臨時休校、生徒を学校に留め置く場合等
- ・緊急を要する不審者情報
- ・その他

(3) 学校安全について

生徒たちが安心して学校生活を送るために、本校では安全対策を強化しています。

- ① 警備員を配置して生徒の安全確保に努めています。また、保護者の皆様が校内にいらっしゃる場合には、保護者証の着用をお願いしております。
- ② 校内にはAED（自動体外式除細動器）を3台設置し、不慮の事故にも備えています。また、教職員を対象にAED講習・救命救急講習を定期的に行っています。
- ③ 全ての校舎で最新の耐震基準をクリアしています。
- ④ 非常時のために、全生徒分の非常食・飲料水・非常用生活用品を備蓄しています。
- ⑤ 大地震などの災害が発生した際には、私立学校の被災状況や生徒の安否情報を、ラジオで放送することになっています。パソコンやスマートフォンでも聞くことができます（ニッポン放送 AM1242/FM93）。
- ⑥ 東京の私立学校間では、登下校時の緊急避難校ネットワークがあります。登下校の時間帯に震災等が発生し、交通機関がストップして学校や自宅にたどり着けなくなった場合、近くの私立小中高校に避難することができます。水や食料・トイレなどを提供するほか、専用のWebシステムを使い、学校間で生徒の所在を伝達し合うことができます。電話がつながりにくい状況でも安心です。
- ⑦ 学校管理下における生徒の怪我や病気に備え、独立行政法人日本スポーツ振興センターと災害共済契約を結んでいます。

(4) 昼食

本校に学食はありませんので、お弁当を持参するほか、登校時に購入したり、学内の売店で購入したりする生徒もいます。学内の売店では、パンやおにぎりなどの軽食を購入することができます。また、事前注文が必要となります。「立川給食」というお弁当業者のお弁当を購入することもできます。お弁当は数種類の中から選ぶことができ、日替わりのお弁当もあります。注文したお弁当は、昼休みに3号館1階 生徒ホールで受け取ることができます。数に限りはありますが、当日現金でお弁当等を購入することもできます。

(5) クラブ活動

クラブ活動への入部は強制ではありません。生徒の個性に応じた活動を通じて自主的精神を養い、学校生活の充実向上をはかることを目的として行っています。

文化系：合唱部・プラスバンド部・軽音楽部・家庭科部

運動系：テニス部・フットサル部・バドミントン部・glee&ダンス部

(6) カウンセラー

本校には、臨床心理士・公認心理師の資格を持つ専任のスクールカウンセラーがおり、平日は毎日相談できる相談体制を整えています。生徒・保護者の方のご相談のみならず、教員と連携しながら、問題が深刻化する前の予防的対応にも力を入れています。音楽を土台とした豊かな心の醸成に貢献できるよう、自他の感情を深く理解し、共感性や表現力を高め、周囲との調和（アンサンブル）を実現できるよう、カウンセリング活動を行っています。

9. 新型コロナウイルス感染症に対する取り組み

(1) 健康観察

生徒及びすべての教職員は平日の朝 8 時 30 分までに jmobile を使用し、朝の検温結果と体調報告を学校に送信します。毎日の送信結果を管理し、体調の変化を観察しています。また、登校し校内に入る前にも非接触型の機械で検温をしています。担任をはじめ教員は生徒の様子に目を向け、体調の変化がみられる場合は養護教諭と連携し、素早く対応ができるように心がけています。

(2) 消毒

昇降口や各教室前をはじめ、校内の約 80箇所に消毒液を設置しています。教員は放課後、HR 教室の机や椅子、手すりやドアなど生徒が触れる場所を消毒しています。教室以外の場所で授業を受けた時は、生徒自身が使用したものを消毒しています。直接消毒ができない備品を使用する時には、使用前後に手洗いと手指消毒を行っています。また、階段やお手洗いなどの共用部は用務員が毎日清掃と消毒を行っています。

(3) 換気

密閉した空間を作らないように教室のドアを開けたり、外に続く窓を開けたりして空気を入れ替えていきます。外の空気によって室温が変化しやすい環境の中では、エアコンを使用して、熱中症などにならないよう気をつけています。レッスン室のように一定時間ドアを閉じる場所では、常時換気システムを使用しています。そして、休み時間毎にドアを全開にして空気を入れ替えていきます。

(4) 飲食

昼食は教室内で、生徒全員が同じ方を向き、黙食をしています。マスクを外す時間が長くなる昼食時は各クラス教員が立ち会い、感染リスクを高めないように指導しています。水分補給の機会が増える体育の授業では、マスクを外すときには周りと十分に距離をとり、会話をしないように教員が声掛けを行っています。

(5) マスクの着用

生徒及びすべての教職員は基本的にはマスクを着用し、学校生活を送っています。マスク着用が困難になる管楽器や声楽のレッスンでは、指導者と生徒の間にパーティションを設置しています。同じようにオーケストラの授業においても管楽器の生徒と生徒の間にパーティションを置いて授業を行っています。

(6) 時短・オンライン授業

感染状況に応じて時短やオンラインで授業を行っています。初めて緊急事態宣言が発出された 2020 年 4~5 月には各家庭に教科書と課題を発送し、電話で生活の様子を聞いたり、健康観察を行ったりしました。6 月には分散登校を実施し、7 月からは時短授業を行い、学習を進めました。オンラインを活用し始めた頃は HR での使い方を練習し、少し慣れてきた頃からは教科の授業を行いました。慣れないパソコン画面での作業になるため、生徒の身体に負担がかからないよう、授業時間や方法を工夫しました。現在は、Google Classroom や Google Meet を中心に活用しています。教員から生徒への課題や授業動画の一方向的な配信だけでなく、Google Meet を使ったリアルタイムでの双方向授業や生徒の課題提出など双方向でオンラインシステムを利用しています。入学後、生徒には使用機器やシステムの使用方法を丁寧に指導しますのでご安心ください。また、学年や教科の特性に合わせて効果的にオンラインシステムを利用できるよう、教員は研鑽を積んでいます。

時短授業を行う場合は、1 日の時間数は変えずに授業時間を短縮して行います。社会状況に応じて、部活動は停止したり、短縮（週 2 日、1 時間ずつ）したりしています。

10. アフタースクール

コースや専攻を変えて引き続き本校・本学で学ぶことを希望する中学校・高校音楽科生徒、および実技レッスンを希望する高校普通科の生徒を対象に、課外でレッスンを行う制度です。指導には本校レッスン教員、経験豊富な本校推薦講師があたり、個々の生徒の特質や希望にそって良質で効率的なレッスンを実施します。

＜対象＞

中学

- ・文理コースの生徒で、音楽コースへの変更を希望する生徒
- ・音楽コースの生徒で、主楽器の変更を希望する生徒

高校普通科

- ・国立音楽大学音楽文化教育学科（音楽文化教育専攻の各専修、幼児音楽教育専攻）および演奏・創作学科（コンピュータ音楽専修）に内部推薦で進学を希望する生徒を主とします。

高校音楽科

- ・専攻の変更を希望する生徒

＜指導スタッフ＞

- ・本校レッスン教員または本校が推薦する講師

＜附属中学生徒への内容＞

- ・ピアノ、声楽、弦楽器、管楽器、作曲/他
- ・50分の個人レッスンで、月に2~3回（年間28回）
- ・平日放課後または土曜日に実施

＜料金＞

- ・月額￥8,400

11. 生徒募集要項

(1) 募集人員 約45名(第1学年 男女 音楽・文理コース合わせて)

(2) 出願手続(インターネット出願)

①出願書類:志願表・通知表の写し(6年次1・2学期または前期の表裏両面)

②入学検定料:音楽実技26,000円、音楽準備・文理21,000円

(3) 出願・合格発表・入学手続

出 願	第1回			第2回	第3回
	音楽実技		音楽準備・文理	音楽準備・文理	音楽実技 音楽準備・文理
	1/10(月)～1/21(金)	1/10(月)～1/28(金)		1/10(月)～2/2(水)	1/10(月)～2/8(火)
合 格 発 表	第1回			第2回	第3回
	音楽実技	音楽準備 文理(二科)	文理(都立一貫 校型適性検査)		
	2/2(水) 17:00	2/1(火) 17:00	2/1(火) 18:00	2/3(木) 17:00	2/10(木) 18:30
入 学 手 続	第1回			第2回	第3回
	音楽実技	音楽準備 文理(二科)	文理(都立一貫 校型適性検査)	音楽準備 文理(二科)	音楽実技・音楽準備 文理(二科)
	2/3(木)	2/2(水)	2/10(木)	2/4(金)	2/14(月)

(4) 入学試験

①音楽コース

	第1回		第2回	第3回		
	音楽実技		音楽準備	音楽準備	音楽実技	
日 時	【1日目】 2/1(火) 集合8:40、 国語・算数・ 面接	【2日目】 2/2(水) 実技・視唱	2/1(火) 集合8:40 国語・算数・ 作文・面接	2/3(木) 集合8:40 国語・算数・ 作文・面接	2/10(木) 集合13:10、 国語・算数・ 視唱・実技・ 面接	2/10(木) 集合13:10、 国語・算数・ 作文・面接

②文理コース

	第1回		第2回	第3回
	二科	都立一貫校型 適性検査	二科	二科
日 時	2/1(火) 集合8:40、 国語・算数・面接	2/1(火) 集合8:40、 適性I・適II	2/3(木) 集合8:40、 国語・算数・面接	2/10(木) 集合13:10、 国語・算数・面接